

# I. 全体調査設計

## 1. 調査目的

- ・「高齢者ホワイトカラーのコンピュータ訓練特性に関する調査」(以下、本調査)は、「高齢者ホワイトカラーの職域拡大のためのコンピュータ訓練システムの開発に関する研究」(以下、本研究開発)の研究・開発 方向性を規定するための基礎的な知見を提供するものである。
- ・従って、本調査の目的は、文字通り、「高齢者ホワイトカラーのコンピュータ教育訓練に対する訓練特性を 訓練課題、訓練方法、訓練プログラム等の面から明らかにすること」であるが、特に、最適訓練プログラム開発に反映されうる高齢ホワイトの訓練特性を抽出することに力点を置いて、分析を行うものとする。

## 2. 調査方法

- 本調査は、「訓練生アンケート調査」、「指導員アンケート調査」、「指導員インタビュー調査」の3つの個別調査から構成した。
- 個別調査の具体的な調査設計に先立ち、全国の職業能力開発促進センター（ポリテクセンター）、及び雇用促進センターに対してセンター調査を実施し、平成5年9月以降に開講したOA関連マスターコースの実績と各コースの訓練内容の概略を把握した。
- センター調査の結果を踏まえて、訓練生アンケート調査のサンプリングを行った。  
訓練生アンケート調査の回答対象者は、全国のポリテクセンター、及び雇用促進センターから委託を受けた民間訓練機関において、平成5年9月以降に開講されたOA関連マスターコースを受講した訓練生で、原則、アンケートの回答時点では訓練を継続中、あるいは修了して間もない者とした。アンケートは1名につき1票を設定した。
- センター調査の結果と訓練生アンケートの回収結果を踏まえて、指導員アンケート調査の調査対象を設定した。  
指導員アンケート調査の回答対象者は、全国のポリテクセンターでOAに関連したマスターコースの訓練にあたっている指導員であり、アンケート票は1訓練コースにつき1票の設定とした。まず対象となるセンターを、平成5年9月以降にOAに関連したマスターコースを1回でも実施していること、また訓練生アンケートで1票でも回答があったことを条件にスクリーニングし、その各施設で開設された全マスターコースを調査対象とした。同一のコースが複数回、実施されている場合は、最も最近に開設されたコースのみを対象とした。
- センター調査において回答の得られたポリテクセンターの中から、指導員インタビュー調査の対象施設の抽出を行った。  
各センターにおける平成5年9月以降のOA関連マスターコースの実施実績を中心に評価し、また調査の効率性から立地も考慮した。